

Tezukayama

University Letter 2008.12.20 大学通信帝塚山

TEZUKAYAMA UNIVERSITY
大学通信 帝塚山 企画編集委員会



CLOSE UP : P15 松永俊介さん

大学通信
帝塚山

University
Letter
2008.12.20

NO. 24

2009年4月こども学科開設。

文部科学省が設置認可

2009年4月、大学現代生活学部「こども学科」(入学定員100人)を開設し、10月31日付けで文部科学省から設置が認可されました。

これを受けて、「こども学科」の募集活動を開始。11月23日の学園前キャンパスでのオープンキャンパスや、大阪難波のホテルを会場に、高校・予備校教員および高校生・保護者対象の学科説明会を実施。一方、11月15日の指定校推薦・協定校特別推薦(前期)を皮切りに、AO入試など同学科の入学試験がスタートしています。なお、同学科主任には南憲治教授が就任する予定です。

核家族化・少子化・一人親家庭の増加・地域と家庭の教育力の低下など、子育ての土壌は今、貧弱になるばかり。こうした中、乳幼児から児童期の子どもの成長・発達を支援することの大切さが改めて見直されており、保育所、幼稚園、小学校というこれまでの枠組みを越えて、長いスパンで子どもを理解し、さまざまな方向から子どもの心身の成長と子育てを支援できる人材が強く求められています。

「こども学科」は、このような社会的要請に基づき、保育士・幼稚園



現代生活学部長
小林 美和 教授

「知識とスキルを探索する既設の食物栄養学科と居住空間デザイン学科の2学科に、あらたに人間を追究する「こども学科」が加わり、現代生活学部は名実ともに完成することになります。この新学科で、子どもの健全な成長を支援できる人材を育成するべくにより、豊かな未来社会の創造に貢献していきたい」



教師・小学校教師の資格を持ち、同時に子どもを取り巻く環境を理解して、適切に対応できる人間力豊かな人材を育成するために開設するものです。

同学科の主な特長として①4年間で保育士、幼稚園教師(1種)、小学校教師(1種)免許の3資格同時取得が可能②食育重視の教育③コミュニケーション能力開発型授業の展開④校舎内に地域と連携した「子育て支援センター」を開設⑤就職意識を高めるため、学外の保育・教育現場と連携した実習授業をするなどがあります。

とりわけ、食育については、これまで培ってきた同学部食物栄養学科の成果を取り入れ、子どもの発達に応じた食育の授業を行うほか、「子育て支援センター」を地域に開放し、学生が地域住民の子育てを支援するボランティアスタッフとして活躍することで、実践的に保育を学べる環境も用意しています。

学園前キャンパスの東側に建設中(2009年4月に供用開始)の新校舎は4階建てで、音楽室、保育演習室、造形室、子育て支援センターなどの実習施設が設けられます。



現代生活学系 こども学科
学科長(就任予定)
南 憲治 教授



カリキュラムの概要

教育学、保育学、心理学、社会学、生活科学などの学問分野を基本に、専門知識と実践力を身につけます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	文化と人間、社会と人間、自然と人間、人間論、人権論、情報基礎、健康科学 英語、フランス語、中国語、ハンガール			
専門基礎科目	現代生活論、現代生活法、日本語療法、日本語療法、こども福祉、こども研究法、消費生活論、生活環境論、文化環境論、情報処理			
専門必修科目	保育内容(健康)、保育内容(人間関係)、保育内容(環境)、保育内容(音楽表現)、保育内容(食育)、保育内容(身体表現)、保育内容(造形表現)、音楽科研究I、図画工作科研究I、体育科研究I、教育心理学I、発達心理学I、乳児保育、教育原理、保育原理A、保育原理B	こどもの文化、こどもとメディア、こどもと演劇、算数科研究I、生活科研究I、家庭科研究I、教育心理学II、発達心理学II、幼児理解、小児保健A、小児保健実習、小児栄養、精神保健、障害児保育、音楽科教育法、図画工作科教育法、体育科教育法、保育実習事前事後指導I、保育所実習A、保育所実習B、保育指導の方法	国語科研究I、社会科研究I、理科研究I、算数科研究II、生活科研究II、家庭科研究II、小児保健B、保育評価論、障害児教育論、障害児心理学、教職論、教育課程論、国語科教育法、社会科教育法、算数科教育法、理科教育法、生活科教育法、家庭科教育法、特別活動論、教育方法論、教育実習事前事後指導(幼稚園)、教育実習(幼稚園)、保育実習事前事後指導II、養護内容、カウンセリングの基礎	国語科研究II、社会科研究II、理科研究II、音楽科研究II、図画工作科研究II、体育科研究II、道徳教育論、こども食育論、教育相談、生徒・進路指導論、子育て支援論、家族援助論、教育実習事前事後指導(小学校)、教育実習(小学校)
専門選択科目	社会福祉概論I、食物学、体育実技、海外文化演習	総合演習、教育行政学、教育社会学、養護原理、家庭看護	社会福祉概論II、社会福祉援助技術演習、児童福祉論I、家族福祉論、児童英語の研究、施設実習A	児童福祉論II、教職実践演習、保育実践演習、施設実習B
その他	インターンシップI		インターンシップII	
卒業研究		ゼミナールI(卒業研究)		ゼミナールII(卒業研究)、ゼミナールIII(卒業研究)

文部科学省事業「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に採択 学生の学力・人間力・社会力の養成 ～e能力ポートフォリオとe能力アセスメントを活用して

優れた大学教育を財政面で支援する文部科学省の平成20年度「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に、本学の取組「学生の学力・人間力・社会力の養成～e能力ポートフォリオとe能力アセスメントを活用して」が採択されました。(財政支援期間は3年間)

この教育GPは、従来の特色GPと現代GPを発展的に統合したものです。大学設置基準等の改正等への積極的な対応を前提に、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された教育の質の向上につながる教育取組の中から特に優れたものを選定し、重点的な財政支援を行うことにより、我が国全体としての高等教育の質保証、国際競争力の強化に資することを目的としています。

今年度は、全国の大学や短大など計488校の申請939件のうち、120校の取組148件が選定されました。奈良県の私立大学では、本学のみを選定となりました。

本取組担当者 中嶋 航一 経済学部教授

今まで大学では、試験の点数や出席率などを使って学生の学力評価を行ってきました。しかし現代の知識経済社会では、単に学力だけでは社会の要請に応えることができません。これからの学生は、少子高齢化社会にあっても安定した社会を築き、グローバルな経済競争に対応できる、強靱な人間力と社会力を身につけていかねばならないからです。そのために、学生は「何のために学ぶのか」を自ら考え、夢と志を高く掲げて主体的に学ぶ必要があります。本取組では学生の学力・人間力・社会力の指標と基準を明確にし、教職員と社会の人々が一緒になって学生の自己点検と自己管理による全人格的な成長の手伝いをしたいと思います。具体的には、次のような新しい評価基準を採用します。

学生の学力の評価項目(例)

- ①分析力、②論理的思考力、③課題発見力、④問題解決力、⑤知的好奇心、⑥創造力

学生の人間力の評価項目(例)

- ①教養、②共感力、③誠実、④寛容の精神、⑤チャレンジ精神、⑥リーダーシップ

学生の社会力の評価項目(例)

- ①協調性、②規律性、③コミュニケーション能力、④ストレス耐性、⑤行動力、⑥積極性

具体例

本学の多くの学生は企業インターンシップに参加します。そのインターンシップ先の担当者から受ける評価を図1のデジタルペンを使い、図2の帳票に記入してもらっただけで、簡単に外部評価が電子化されて、いつでもどこでも見るできるようになります。

また学生は学外の演習に出かけますが、重いノートパソコンの代わりにデジタルペンと携帯電話のカメラ機能を使って、担当者や現場で知り合った人との交流を写真で残し、関係者からコメントや評価をデジタルペンで記入してもらうこともできます。また図2の帳票にある「送信チェックボックス」をクリックすると、デジタルペンと携帯電話が通信を開始し、携帯電話を通じてサーバーにデータを送信する仕組みになっています。そのため、課外授業で学外にいる学生は、大学に戻らなくても学外から簡単にデータ転送ができ、教員は自分の研究室で学生からの報告書を閲覧することもできるようになります。

この全体像をイメージしたものが図3になります。教職員にとっては、今までなかなか把握できなかった学生の学内外での活動の正確な記録と外部評価をいつでも見ることができ、それに基づいて学生の学習意欲を高める激励と指導を行うことができるようになります。



送信チェックボックス

評価者氏名
評価日時
授業名
学生氏名

各評価項目の()内に20点を0点から5点の範囲で配分して下さい。

学力	人間力	社会力
・分析力()	・教養()	・協調性()
・論理的思考力()	・共感力()	・規律性()
・課題発見力()	・誠実()	・コミュニケーション能力()
・問題解決力()	・寛容の精神()	・ストレス耐性()
・創造力()	・チャレンジ精神()	・行動力()
・想像力()	・リーダーシップ()	・積極性()

図2: 評価用帳票の事例



図3: 本取組の全体像

寺島実郎氏監修 リレー講座 第3弾始まる

日本総合研究所会長で三井物産戦略研究所所長の寺島実郎氏が監修するリレー講座の第3弾、現代解析講座「激動する世界を深く考えてみよう」が10月10日、大阪市北区中之島のTKP大阪淀屋橋ビジネスセンターで始まりました。

第1回目では、冒頭に山本順英学園理事長が開会のあいさつを行い、その後、寺島氏がリレー講座の第1回目を「世界潮流と日本の進路」と題して講義、一般参加者と学生たち150人が熱心に耳を傾けていました。

大学の特別講義として、今年で3回目を数える同講座。時事問題に鋭く切り込み、世界の中で日本がどうあるべきかを多角的に分析し、大好評を博しています。今回はサブプライムローン問題に伴う世界の金融危機や、米大統領選挙などの話題を取り上げ、参加者からは「一線で活躍の専門家の話をこんなに間近で聞ける機会は中々ないので、大変嬉しい。来年も是非継続してほしい。」などの声を聞くことができました。

今回は、寺島氏をはじめ最前線で活躍する政治・経済の専門家9人が講師となり、1月16日まで毎月2～3回、計10回開かれます。

寺島実郎監修リレー講座 第三弾 帝塚山大学・特別講義
現代解析講座 「激動する世界を深く考えてみよう」



現代GPP「心のケアとサポート」 自殺予防シンポジウム開催

9月13日、奈良県と共催で、自殺予防シンポジウム「自殺を止めるために私たちができること」を学園前キャンパスで開催しました。

本シンポジウムは、平成18年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GPP)」に採択された本学の取組「心のケアとサポート」人材養成と自立支援、地域の活性化と安心・安全な社会の創造のための実践的教育の一環として行われました。当日は支援団体の関係者や市民約100人が参加し、遺族の発表や弁護士、精神科医ら専門家の報告に熱心に耳を傾けていました。



シンポジウムでは、遺族の発表と県下の現状報告が行われた後、心理福祉学部の神澤創教授がコーディネーターとなり、パネルディスカッションが行われました。

この中で、自殺の背景には様々な要因が複合的に絡んでいるため、それぞれの悩みに合った対応が重要であることが指摘されたほか、「周囲の人たちができることは、悩んでいる人たちの相談にのり、その思いや苦しみを、痛みをしっかりと聞いてあげることが大切です」との意見が述べられました。

現代GPPシンポジウム 地域づくりフォーラム 「新しいなら型」の地域づくりピアボランティアの挑戦を開催

11月22日、奈良県と共催のフォーラム「新しいなら型～の地域づくり ピアボランティアの挑戦」が学園前キャンパスで開催され、学生や障害者、支援者たち約80人が参加しました。

ピアボランティアは、障害者自らが仲間(ピア)と支えあいながら、ボランティア活動をする造語。フォーラムは1年前の前回提言を受けて、障害者が担い手となる地域づくりの地道な活動の実際が報告されました。

本フォーラムは、平成18年度に文部科学省の現代GPP(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)に選ばれた本学の取組「心のケアとサポート」人材養成と自立支援―地域の活性化と安心・安全な社会の創造のための実践的教育の一環として行われたものです。

フォーラムでは、心理福祉学部の杉本正教授の基調報告に続いて、身体障害・知的障害・精神障害の各障害者支援の立場から「仲間との出会いと支え合いが自信のある活動に結びつつある」状況などが発表されました。

この後、心理福祉学部の学生ボランティア4人が、障害当事者が果たす役割▽障害学生のエンパワメント▽ボランティアってなに?ノートイクを通じてのテーマで報告を行いました。



日	内容
08.25	この夏「プロデューサー育成」高潮にやります!
08.26	この夏「プロデューサー育成」高潮にやります!
08.27	この夏「プロデューサー育成」高潮にやります!
08.28	この夏「プロデューサー育成」高潮にやります!
08.29	この夏「プロデューサー育成」高潮にやります!

映画監督 河瀬直美氏等を講師として 招聘した集中講義を一般に公開

業界の最前線についての集中講義が行われました。

この集中講義は、文部科学省の「産学連携による実践型人材育成事業」で平成18年度に採択された、本学の「マルチブレイクコンテンツ知財専門人材育成」事業の一環として、知的財産に関わる学生・専門家のほか、コンテンツ関連企業の運営に携わる方などに専門的な講義を提供するとともに、企業と大学・学生との産学連携のマッチングの機会を創出することを目的に実施されたものです。「マルチブレイクコンテンツ知財専門人材育成」事業では、文部科学省からの委託を受け、コンテンツ開発からその活用・管理までの総プロセスに対応できる、特に著作権分野に明るい、法・経営・政策の専門家の育成を目指しています。

8月25日～8月30日、学園前キャンパス及び大阪サテライトキャンパスにおいて、映画監督の河瀬直美氏を始めとする5人の多彩な講師による、コンテンツ産

名物講座 「法曹の実務」を実施!

法政策学部では、毎年課外講座として「法曹の実務」を実施しています。同講座は、奈良の法曹界の協力によるもので、学生にとって普段は聞くことのできない貴重な機会となっています。

今年度は、10月16日、20日、28日の各日に行われました。第1回目の講師は奈良地方検察庁より検事である鷗鶴(ささき)昌二氏。第2回目の講師は奈良地方裁判所葛城支部判事補である高橋孝治氏。そして第3回目の講師は奈良弁護士会会長である藤本卓司氏でした。

参加した学生たちは、講師の先生方の話に熱心に聞き入っていました。例えば、裁判員制度の話。同制度は平成21年5月21日から実施されますが、衆議院議員の選挙権を有する人(20歳以上)であれば、原則として誰でも選出される可能性があるだけに、学生の関心も高かったようです。(ちなみに、学生の場合は裁判員に選出された場合でも辞退することが可能です。)

このように、法政策学部では実務教育にも力を入れ、学生の学習意欲の向上に努めています。



帝塚山大学・飛鳥保存財団連携協力 シンポジウムを開催しました。



11月15日、明日香村の国営飛鳥歴史公園石舞台地区を会場に、「帝塚山大学・飛鳥保存財団連携協力シンポジウム」(テーマ「国博士(くにづかはかせ)ら集う飛鳥の里・稲刈りから世界へ」)日本伝統文化から飛鳥を考える一コマを開催しました。本シンポジウムは、7月18日に本学と飛鳥保存財団が、飛鳥をフィールドとした生きた大学教育の推進、並びに飛鳥地域の保存・発展に貢献することを目的とした協定を締結したことを受け、地域連携事業の一環として開催したものです。

シンポジウムでは、明日香村教育委員会文化財課主事・西光慎治氏と人文科学部日本文化学科の赤田光男教授、関根俊一教授、鷗森浩幸准教授による講演や森都夫教授コーディネートのパネルディスカッション、また、明日香村の方々メンバーで飛鳥時代をテーマにした演劇をされている劇団「時空(じくう)」による「大化の改新」の公演も行われました。

また本学からは、教職員に加えて約50人の学生も参加。受付や場内整理を手伝うとともに、茶道部の学生による抹茶の接待も行われました。

奈良に立地する大学として、このような地域の特性を活かした地域連携事業を一層推進することになっています。

野村證券株式会社提供寄附講座 「特殊講義(ファイナンス入門)」開講

野村證券株式会社提供の寄附講座「特殊講義(ファイナンス入門)」が始まりました。同講座は、野村證券株式会社のご厚意で、2004年度から毎年開催しています。



この講義では、証券・金融市場関連のテーマを中心とする講義を通じて、社会・経済の動向に関する見聞を広めると共に、今後の資産形成・起業の際に必要な知識の習得を目指します。今年度は10月1日～7日までの13回連続で、野村證券株式会社グループの企業から派遣される講師陣が交代でリレー式講座を行います。

11月19日は、野村ホールディングスCC推進室 池上浩氏を講師に迎え、「グローバル化する世界と資本市場の果たす役割」と題して講義が行われました。世界経済の先行きから教育の重要性にまで話は及び、テンポよく進み講義に、学生は引き込まれていました。

東京での「正倉院フォーラム」を皮切りに 正倉院関連イベントが 続々開催

第60回正倉院展(10月25日開幕)の魅力に迫る「正倉院フォーラム2008東京」(主催：読売新聞社・NHK、後援：奈良国立博物館、協賛：帝塚山学園・帝塚山大学など)が9月19日、東京・有楽町の東京国際フォーラムで開催されました。



約1100人もの正倉院ファンが集う中、本学人文科学部日本文化学科教授で奈良学総合文化研究所所長の関根俊一教授がパネリストとして参加。今年の主な出土宝物や正倉院の儀式について詳しくコメントしました。

また、10月26日、帝塚山大学が第60回正倉院展の開催を協賛していることを記念し、奈良県新公会堂において「中学生・高校生のための正倉院展講座」を開催しました。講座では、関根教授が正倉院の宝物についてスライドを使いながら解説。実際の正倉院校倉を徒歩で見学した後、奈良国立博物館で開催中の正倉院展を見学しました。午前中の講座には奈良県立高円高校の生徒の皆さん、午後の講座には、関東や中部地方からの参加者を交え、多数の中学生・高校生に参加していただきました。



10月31日には、「高校教員のための正倉院展講座」を開催。国際奈良学セミナーハウスでの正倉院宝物の解説に加え、東大寺大仏殿、正倉院校倉、正倉院展を見学しました。栃木県から岡山県までの幅広い地域から約50人の高校の先生方に、晩秋の古都奈良での現地体験をしていただきました。

虹色祭

帝塚山大学「虹色祭」を 開催しました。

10月12日・13日に、第44回帝塚山大学大学祭（虹色祭）が開催されました。気持ちのいい秋晴れの中、本学学生や高校生、一般の方々はもちろん、日ごろお世話になっている地域の方々など幅広い人たちに多数ご来場いただきました。

テーマは「二期一会（出会い）」これにはひとつの出会いをすばらしいものに、そしてそれを大切にしていこうという学生達の想いが込められていました。今年は、旧一号館跡地にできた広い中庭を使っただけの初めての大学祭。会場のレイアウトが昨年までとガラリと変更されたのが特徴でした。中庭には大きな野外ステージが設置され、ダンスや若手実力派アーティストによるライブなど数多くのイベントが来場者を楽しませてくれました。入場者が模擬店を楽しみながら一周できるようにレイアウトされた会場で、学生会のスタッフや様々な課外活動団体が展示、演奏、模擬店などで盛り上げてくれました。

大学祭のフィナーレを飾ったのは花火大会。美しい花火には参加者全員から大歓声が上がりました。今年の会場には金魚すくいや風船つりなど縁日風の夜店が並び、地域の子供たちなどで大盛況。夜店と共に、フィナーレの花火大会は、虹色祭の名物となりました。

会場レイアウトの変更やイベント日程の見直しなど、大きく変化した今年の大学祭でしたが、来年度はより一層の盛り上がりを見せてくれると期待しつつ、実行委員会の学生達を見守りたいと思います。



～世界の子どもたちに教育の充実を～ 大学祭でチャリティ



身近にある人の死、そして貧富の差を目の当たりにして衝撃を受けたと言います。さらに、学校にも行けず働く子どもたちの過酷な現状を見るにつけ、教育の受けられない子どもたちのために、自分たちができることは何かと、2人は真剣に考え始めるようになりました。そんな時、西垣さんがインドのとある村の育空学校で先生から聞いた一言がきっかけとなります。

「筆記具さえあれば、勉強ができる子をもっと増やせるのに」
帰国後ほどなくして、彼らはほかに2人のメンバーを加えて団体Shantyを設立。同団体の前にも、近鉄奈良駅～JR奈良駅までの清掃イベントなどを手がけたことのある彼らでしたが、今回は、インドの育空学校の先生と約束した筆記具を集めるべく、ユニセフの協力も得ながら大学祭でチャリティを行いました。

大学生活の傍ら、「地球人として、今何が出来るか」をテーマに、さまざまな活動を行う団体Shantyの共同代表として活躍する向川達哉さん（経営情報学部3年）と西垣良一さん（同4年）。

2人は、昨年の9月から一年間大学を休学し、東南アジア諸国を皮切りにアフリカ、ユーラシア、南米、オセアニアの約20カ国をバックパッカーとして旅をしてきたという貴重な体験の持ち主です。

世界一周の旅の中で、多様な経験をしてきた彼らですが、特にインドでは、あまりにも

「募金ではなく、あくまで筆記具販売によるチャリティということに意義があると思いました。恵まれない地域にものを再分配するという仕組みが必要だと考えたのです」と向川さん。

現在、ShantyはNPO法人登録申請の準備中。今後はバザーで集めた不用品や、手作りのものを販売した収益を、教育の受けられない子どもたちに再分配できるようなイベントのプロデュースなどを行ってきたいとのこと。より幅広い活動が期待されます。

Shantyでの活動が忙しくて大学の授業は大変では？と水を向けると、向川さんは「帰国してから、授業のひとつひとつが本当に楽しい。旅に出て痛感したのは、もっと色々勉強しておくべきだったということです。そのせいか、以前は興味のなかった分野です。自分がスポンジのようにすべてを吸収しようとしているのが分かるんです」と目を輝かせて語ってくれました。



※大学祭での筆記具販売によるチャリティは、ボールペン280本、ノート250冊、鉛筆341本のほか、募金も含め7万6千295円の売上となりましたが、鉛筆のみ目標本数に359本足りません。本記事を讀まれた方々の温かいお志をお待ちしておりますので、ご協力いただける場合は向川達哉さん <tatue619@hotmail.co.jp>までご連絡ください。なお、募金期間は平成21年1月31日まで、鉛筆は安全面から未使用のもののみとさせていただきます。インドへの発送は2月上旬を予定しています。

高校生ビジネスアイデアコンテスト 2008

経営情報学部・経済学部・法政策学部が主催の「高校生ビジネスアイデア・コンテスト2008」の上位入賞10件のプレゼンテーションと最終審査、入賞者・団体194件の表彰式が11月16日、東生駒キャンパスで開かれました。

一般市民ら約80人が参加した最終審査では、上位入賞者ひとりごり壇上で、パワーポイントを駆使し、個性溢れるビジネスアイデアをアピール。各プレゼンテーションが終わるごとに審査委員が講評した後、会場の参加者全員も選考の投票に加わり、上位の「最優秀賞1件」「優秀賞1件」「奨励賞3件」「佳作5件」が決まりました。レベルの高いプレゼンテーションにも苦戦する中、最優秀賞に選ばれたのは京都府立京都すばる高等学校の佐々木 麻衣さんによる「螺旋糊COLOR(らせんのり カラー)でした。各表彰作品は表の通りです。

本コンテストは若い知恵を新しいビジネスに生かそうと企画され、今年で6回目を迎えました。回を追うごとに応募件数が増え、今回は関西だけでなく中部、九州などから、最多の1769件の応募がありました。

また、上位各賞のほかに、「敢闘賞60件」「あともう歩賞91件」「団体協力賞33件」も選ばれました。



経営情報学部・経済学部・法政策学部が主催の「高校生ビジネスアイデア・コンテスト2008」の上位入賞10件のプレゼンテーションと最終審査、入賞者・団体194件の表彰式が11月16日、東生駒キャンパスで開かれました。

賞	作品名	氏名	所属校
最優秀賞	螺旋糊COLOR(らせんのり カラー)	佐々木 麻衣	京都府立京都すばる高等学校
優秀賞	香り付き気泡緩衝材(香り付きプチプチ)	坪井 みづき	京都府立京都すばる高等学校
奨励賞	街角ナビゲーション	改田 祐介	同志社香里高等学校
	CLK communication line keep (通話回線保有)システム	多田 来生歩	大阪市立淀商業高等学校
佳作	マッサージin新幹線	佐藤 巧歩	滋賀県立八幡商業高等学校
	スピードダウン“MORPH” —交差点事故減少のための新型信号機—	松岡 隼人	大分県立大分高等学校
	シャンプー・リンスの容器のフタ	西岡 輝	和歌山県立和歌山商業高等学校
	家族もニコリ！新スマホ携帯電話サービス	佐藤 彰 杉本 杏奈	京都府立木津高等学校
	AS-明日へ続く安心	密谷 彰織	京都市立伏見工業高等学校
	移動喫茶店「ふれあい喫茶」	伊藤 留衣	奈良県立桜井高等学校

(順不同)

ボランティアルームの活動

ボランティアルームは学園前キャンパス16号館7階にあり、心理福祉学部を中心として、社会福祉のボランティア活動を支援しているところです。ルームの職員である兼松美幸さんのやさしいサポートがあり、学生たちの楽しくにぎやかな声が絶えません。ルームができて4年目ですが、活動が広がり、地域からの依頼も大変多くなっています。継続的なものとして、知的に障がいのある方を招いて開催される「帝塚山大学オーブンカレッジ」には35人、生駒市子育て支援ボランティアの「サンデーひろば」には約40人の学生が参加し、単発的なものとして、近畿身体障害者水泳選手権大会への約50人の学生を支援する第24回全国研究集会にも約30人など、多くの学生がサポーターとして参加し、たいへん喜んでいただきました。2月には障害者高齢者の集う「春咲きコンサート」でのボランティアを募集中です。その他、障がいのある学生のためのノートテイクや学習支援活動、ノートテイク養成講座、認知症サポーター養成講座なども開催し、様々なニーズに応えられるように日々つとめています。



外国人留学生の日本語スピーチコンテスト ～大学祭で、近隣住民ら参加の中国語朗読も～

本学外国人留学生が自身の思いや考えを日本語で発表する「帝塚山大学外国人留学生日本語スピーチコンテスト」が10月12日、大学祭「虹色祭」でにぎわう学内で実施されました。

スピーチコンテストは今年で11回目。外国人留学生の発表と交流の場として、近隣の方もご覧いただきやすいように大学祭「虹色祭」期間中に実施しています。今回は外国人留学生12人が参加し、来日してからの苦労話や、感動したこと、将来の夢などをこの日のために文章にして覚えた日本語で語りました。韓国の女子学生は同国では普通に行われている整形を題材に、日本との考えの違いを発表。中国の男子学生は来春の卒業を前に就職活動のポイントを日本人顔負けの日本語で披露しました。来場者約50人が熱弁をふるう留学生の姿に見入っていました。

また、「中国語朗読コンテスト」も実施され、日本人学生や近隣在住の中国語学習者の方々6人が参加。優秀者には賞品と賞状が贈られました。コンテスト終了後は学内のバーベキューコーナーに場所を移してパーティーを開催。会場は日本語や外国語が飛び交う国際色豊かなムードに包まれました。

本学には世界9つの国と地域から約500人の外国人留学生が在籍、勉学に励んでいます。こうしたイベントは同学生が有意義な留学生生活を営むうえで役立っています。(コンテストの結果は下表のとおり)



◆スピーチコンテスト (留学生対象)

順位	氏名	学科名
1	アン コウヒ	経済学部経済学科
2	キン ギンゲツ	人文科学部英語文化学科
3	カ リキホウ	経済学部経済学科
3	イム ヨンスン	法政策学部ビジネス法学科

◆朗読コンテスト (日本人対象)

順位	氏名	参加区分
1	菊川 千佳子	一般参加
2	宮部 聡子	一般参加
3	澤田 智佳子	一般参加

ニュージーランド協定校から 学生を短期受け入れ

人文科学部はこのほど、本学の海外協定校・クライストチャーチポリテクニク(ニュージーランド)から学生3人を特別聴講生として短期で受け入れました。

やってきたのは同校日本語科のKyle McMillan君、Raymond Sim君、Matthew Pratt君の男子学生。学費などは本学が負担する異学事業で、海外協定校から短期で学生を受け入れるのは今回が初めて。10月5日から26日までの3週間にわたり日本語授業、人文科学部専門科目の受講のほか、「大学祭」「調理実習」「小・中・高校の授業参加」「学外研修」などを実施しました。人文科学部だけでなく現代生活学部や法政策学部、帝塚山小・中・高等学校、国の委託事業にもなっ



ている「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」など、学園の特色ある組織が協力し多彩なプログラムとなりました。

3人はときには文化の違いに戸惑いながらも、プログラムを順調にこなし、最後は「日本でとても親切にしてもらいました。今はニュージーランドに帰りたいです」と話していました。

クラブ活動ニュース

ラグビー部

関西 大学リーグ成績 4勝5敗と健闘！



11月30日の「関西 大学リーグ戦」において、甲南大学を25-7で制し、みごと最終戦を4連勝で終えました。今季リーグ成績4勝5敗は、Bリーグに昇格したばかりのチームとしては快挙。来季の活躍に一層の期待が高まります。

レスリング部

創部初のファイナリスト 西日本学生選手権銀メダル、天皇杯全日本選手権大会出場

レスリング部は10月23～26日、西日本学生選手権に12名が出場。以下のような成績を収めました。

フリースタイル120kg級
塩見力さん(人文4年)準優勝 銀メダル獲得
フリースタイル74kg級
村山翔さん(法政策1年)2回戦進出
グレコローマンスタイル120kg級
塩見力さん 3位 銅メダル獲得



また、11月21～23日、西日本学生レスリング秋季リーグに出場、3勝3敗で大会を終え、3位入賞。

12月21日より東京で行われる「平成20年度天皇杯 全日本レスリング選手権大会」フリースタイル120kg級に、塩見力さんが出場することが決定。出場選手は大半が自衛隊・警視庁と言うハイレベルな大会で、奈良県からは本学のみ出場。

同大会は、国民体育大会・全日本選抜選手権と並ぶ3大メジャー大会の1つで、世界選手権の代表選考の一つを兼ねています。同階級には、国内で10名のみが出場。レスリング部としては創部以来初の快挙。

ソフトテニス部

秋季リーグ戦優勝

ソフトテニス部は、関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦において、6部Aリーグ優勝。

弓道部

男女そろって平成20年度リーグ戦優勝！

弓道部(関西学生弓道連盟所属)は、平成20年度リーグ戦において、男女ともに4部リーグAブロック優勝。

女子バレーボール部

秋季リーグ戦優勝！

女子バレーボール部所属の「関西 大学バレーボール連盟」秋季リーグ戦が終了し、全勝で見事リーグ優勝、6部昇格を果たしました。



軟式野球部

西部大学軟式野球連盟秋季リーグ優勝、 西日本大学軟式野球選手権大会に出場

軟式野球部は1部昇格後すぐに行われた秋季リーグで優勝、11月8日より開催された「第25回西日本大学軟式野球選手権大会」に出場。(西日本地域の9つの軟式野球連盟から上位2チーム(計18チーム)のみ出場可能。)残念ながら第2戦で強豪甲南大学に敗れたものの、来期の活躍が期待されます。

第2戦
帝塚山大学(3) - 一愛大学(1)
第3戦
帝塚山大学(4) - 甲南大学(6)



ボクシング部

主将の米尾達哉さん(経済2年) 2大会連続入賞



9月13～15日に関西大学で開催された全日本アマチュアボクシング選手権近畿ブロック大会で、京都府代表として出場した主将の米尾達哉さん(経済2年)は、ライトウェルター級で3位入賞。米尾さんは全日本選手権京都府代表にも選出されており、同選手権出場と近畿ブロック3位入賞は、創部以来2回目で3年ぶり。

また、11月22～25日に開催された大阪府学生選手権大会においても、ライトウェルター級(Aクラス)で準優勝。昨年の同階級(Bクラス)優勝に続いての2年連続入賞はクラブ初の快挙です。



意識の確認、気道確保、人工呼吸などの心肺蘇生法に関する一連の実習を行ったほか、AEDをデモ人形で使用するなど、実際の緊急事態に即して講習は進められ、講師の指示を聞き漏らすまいと、熱心にメモを取る学生の姿が見られました。

また、AEDの追加設置に先駆けて、東生駒キャンパス体育館にて、クラブ活動中の事故に備えた救急救命法の実習が行われました。

奈良市消防局(西消防署)の5人の講師の指導の下、クラブ代表者の約50人の学生が、ケガの止血法などのさまざまなファーストエイド(応急手当)に加え、心臓停止や呼吸停止など、生命に関わる重大なトラブルに対処する心肺蘇生法についての講習を受けました。

AEDとは、きれいな状態となった心臓に電気ショックを与える医療機器で、2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、病院や診療所、救急車だけでなく、空港、駅、スポーツクラブ、学校、公共施設、企業等人が多く集まるところを中心に広く設置されています。学内にはこれまでに、東生駒キャンパス学生生活課および学園前キャンパス16号館3階エレベーター(2基側)前に設置していました。

第4クラブハウストレーニングルーム内

現業員室(銀行ATM横の建物)

9号館1階学生生活課(国際交流担当横ラウンジ)

9月12日より、AED(自動体外式除細動器)を東生駒キャンパスの以下の場所に新たに設置しました。

東生駒キャンパスにAEDを新たに3台設置

インターンシップ 10周年記念報告会

大学インターンシップ制度の10周年記念報告会が11月8日、東生駒キャンパスで開かれました。夏休み中に企業などで就業体験をした学生や受け入れ企業・団体側の担当者など約300人が参加し、インターンシップ準備講座「受講中の後輩学生を前に、代表5人が有意義だった就業体験を発表しました。」

開会あいさつで山本良二学長が「今年で制度開始10年目を迎え、参加学生も850人にのぼっている。大学と共に学生を育成しようとする熱意に感謝したい」と語りました。

続いて「大学のインターンシップ10年の歩み」を中山伸副学長が報告。NPO法人キャリアサポートセンター奈良理事長 山田政利氏が制度立ち上げの経緯などを話した後、日本企業の厳しい現状に「待ち受けている困難や壁に真摯に立ち向かい、乗り越えてほしい」と激励しました。

この後、学生の報告に移り、森田絢子さん(経済3年)▽志水謙君(経営情報3年)▽中川真利子さん(心理福祉3年)▽関下太志君(同2年)▽高橋雅志君(現代生活3年)がパワーポイントを使いながら貴重な社会人体験について語り、「新たな世界、仕事の厳しさの一端に触れ、社会人としての自覚が芽生え、成長できた」と成果を話しました。



5人の発表の後、山本学長から小林真名美さん(経済3年)と西田康孝君(同)の2人にインターンシップ修了の認定書が授与されました。企業側からは「この気持ちを忘れず、職場選びなどに役立ててほしい」と講評をいただきました。



写真：左から1人目=森田さん、2人目=池田さん、4人目=伊藤さん

ホテル近鉄ユニバーサルスタジオジャパン インターンシップ体験談

経済学部 経済学科 森田 絢子
 実習先にホテルを選んだ理由は、社会に出てからも活かされるコミュニケーション力やホスピタリティを身に付けたいと考えたためです。
 実際に実習を通して、常にお客様の立場になって考え、気配り・目配りをする事、与えられた仕事に対して、毎日目標を決めて取り組むことの大切さなど多くの事を学ぶことができました。
 10日間本当に大変でしたが、学生生活では決して得ることのできない多くの経験を積みこいできました。物事に対する積極性が身に付いたほか、仕事のやりがいといった職業観を養うこともできました。また、今の自分の改善点を確認することができました。
 これからインターンシップに参加される皆さん、自分なりの目的意識を持って参加してみてください。きっと貴重な体験が得られるはずです。

経済学部 経済学科 池田 沙矢香
 実際に働いている社会人の先駆者を見たり、仕事の現場を知りたいと思い参加したのですが、思っていた以上に大変で責任重大であることを実感することができました。
 仕事は、ホテルの飲食サービスとして接客業務が中心で、夏休みということもあり、店外には行列ができるほどの賑わいでした。学生生活では、経験できない緊張感の中、業務に没頭する毎日でした。
 10日間という短い期間でしたが、今まで見落としていたマナーや接客など細やかにご指導いただいたことで、新たな自分を発見することができました。そして、少なからず社会人としての自覚を得られたと思います。インターンシップを経験していない方には、ぜひ参加していただきたいです。きっと成長した自分に会えると思います。

経済学部 経済学科 伊藤 由佳
 インターンシップ生として塚原山大学卒業生の吉田マネージャーの紹介で実習させて頂きました。将来、接客業に就くことが夢である私にとって目指すものは、プロのホテルマンのような接客であるため、ホテルを選びました。相当の覚悟で臨んだつもりでしたが、私が覚悟していたよりも難しく気付かされる部分が多々ありました。
 実習を通して、接客とは自分からお客様に接していかなければならない、またお客様のアクションを待つだけでは何も始まらないと学びました。この事を念頭に、ドリンクに手が届かないお子様を抱っこしてあげると、お客様に笑顔で「ありがとうございます」と言われました。それが私の実習の中で最高の思い出になり、私が目指す接客に一つのテーマを見出すことが出来ました。

平成20年度 受け入れ企業・団体一覧表(順不同)

- | | | | |
|-----------------------|--------------------------|------------------|-----------------------------|
| 株式会社銀座徳源 | 株式会社学情 | キャバロイシイ株式会社 | 学校法人大和学園(京都経営者協会) |
| ステーションカンパニー株式会社 | 奈良日産自動車株式会社 | 株式会社グルメジャパン西大和さき | 株式会社スマートテクノロジー(京都経営者協会) |
| ホテルアウナ大阪 | 奈良トヨタ自動車株式会社 | 三和製菓株式会社 | 財団法人京都工場保健会(京都経営者協会) |
| 株式会社トーホービジネスサービス | 株式会社日本SPセンター | 学校法人永井学園 | 株式会社くらしナビ(大阪府雇用開発協会) |
| パナソニック電工株式会社 | 株式会社りそな銀行 | 奈良市役所 | シグマ薬品株式会社(大阪府雇用開発協会) |
| 日登実株式会社 | ホテル近鉄ユニバーサルスタジオジャパン | 奈良ダイハツ株式会社 | アクティブライフ株式会社(大阪府雇用開発協会) |
| 株式会社カースキャリアセンター | 岩田公認会計士事務所 | なら100年会館 | 那智勝浦町役場(和歌山県経営者協会) |
| 野村證券株式会社 | 株式会社イムラ封筒 | 株式会社原田フーズ | 株式会社エムイーエス由良(和歌山県経営者協会) |
| 株式会社運葉 | 株式会社創造通工 | 株式会社社ひまわりの会 | 株式会社オーエンターテインメント(和歌山県経営者協会) |
| 瀬本株式会社 | 株式会社大林組 | 株式会社平井真実館 | 野村證券株式会社(堺経営者協会) |
| 近畿日本ツーリスト・関西営業本部カンパニー | 株式会社貿易広告社 | 株式会社ホテル日航奈良 | 大和証券株式会社(堺経営者協会) |
| 丸善株式会社 | 株式会社グルメ片屋 | パナソニック株式会社 | 谷口工務店(滋賀経済産業協会) |
| 株式会社NPCコーポレーション | 株式会社スカイA | 宗教法人大薬師寺 | 株式会社グルメティエー近畿 |
| 株式会社パノナ京都 | 株式会社東畑建築事務所 | 社会福祉法人大和清寿会・清寿苑 | 美濃加茂市役所 |
| 広栄株式会社 | 有限会社Root's international | 株式会社大和園グループ | ローソン姫路飾磨今在家店 |
| 株式会社奈良シーエフコミュニケーションズ | 株式会社エヌアイプランニング | ホテルアジール奈良アネックス | 宗教法人大宮神社 |
| 株式会社メディアアート | 株式会社アズマ | スケーター株式会社 | 倉敷国際ホテル |
| アデコ株式会社 | 株式会社アルペンローゼ | 第一化工株式会社 | 竹山建築設計事務所 |
| 三機工業株式会社・関西支社 | 生駒市役所 | 権原ロイヤルホテル | 中村拓志&NAP建築設計事務所 |
| 川村興業株式会社 | 株式会社イトーヨーカ堂 奈良店 | 株式会社鍛冶田工務店 | |
| 生駒交通株式会社 | 株式会社井上企画 | 社会福祉法人楽慈会 | |

本学卒業生の保護者の皆様で組織していただき、「帝塚山大学ファミリークラブ」の設立総会が11月21日、東生駒キャンパス1号館を会場に開催されました。「帝塚山大学ファミリークラブ」は、卒業生の保護者有志の方々に会員となっただき、会員相互の親睦と帝塚山大学の発展に協力することを目的として組織されたものです。

設立総会では、会則および役員人事の審議が行われ、それぞれ承認されました。会員数は40人程度と

帝塚山大学ファミリークラブ設立総会



数からのスタートとなりましたが、「小さく生んで大きく育てる」ことが期待されます。初代の会長に選出された岡島和男氏(1998年度～2000年度大学後援

会会長)は「卒業生の保護者として母校の発展に協力していきたい」と就任挨拶で抱負を述べられました。

本学では、今回発足した「帝塚山大学ファミリークラブ」、在学生の保護者の皆様で組織していただく「帝塚山大学後援会」、卒業生組織の「帝塚山大学同窓会」等と連携協力し、大帝塚山ファミリーの形成を目指していきます。

帝塚山大学ファミリークラブ 設立総会を開催



保護者懇談会が開催されました

大学の保護者懇談会が、9月13日に本学会場(東生駒キャンパス・学園前キャンパス、14日に名古屋、岡山、高松、和歌山の各会場、23日に大阪の各会場で開催されました。各会場あわせて200家庭、300人を超える保護者の皆様の参加でございました。

同会は保護者と大学教職員の相互理解を深めるため、大学後援会のご支援により毎年この時期に開かれ、日ごろ大学を訪れる機会のない保護者から好評を博しています。

本学会場では学生生活や、就職状況についての説明のあと、キャンパス見学ツアーや、成績・履修、就職等に関する説明や個別相談などが行われました。大阪、名古屋、岡山、高松、和歌山の各会場では保護者らが大学教職員と大学に関する意見交換を行いました。

全国から3万3千人がアクセス! NPO法人 CCC-TIES共催「産経eカレッジ」

産経新聞社の電子版がNPO法人CCC-TIESと共催で、8月5日から9月15日の46日間、夏休み特別企画「産経eカレッジ みんなde大学」を開講しました。大学のeラーニングシステム「TIES (Tezukayama Internet Educational Service)」加盟の70大学のうち、14大学の教員ら30人の33講義が、無料でネット配信され、一ヶ月限定のサイトでしたが、全国で約3万3千人ものアクセスをいただきました。当初は9月10日までの開催予定でしたが、好評につき9月15日まで延長されたものです。

本学からは、参加大学のうち最多の12人が講義ビデオを配信しました。いずれの講義も大学の授業がライブで聴講でき、臨場感たっぷりの講義に「学生時代を思い出しました」、「非常に分かりやすい講義でした」などの声から受講者から寄せられました。

CCC-TIES事務局長でもある帝塚山大学経済学部 中嶋航一教授は「大学のありのままの講義を配信して受け入れられるか不安もありましたが、予想外の成果をあげることができました。これからも産学連携による教育の公開支援に力を注いでいきたいと考えています」と意欲を語っています。



「第7回元気企業ビジネスフェアNANTO」に出展

本学は10月16・17日、マイドームおおさか(大阪市中央区)にて開催の「第7回元気企業ビジネスフェアNANTO」(主催=南都銀行・南都経済センター)にブース出展しました。

このフェアは出展企業と来場者とのビジネスマッチングを図るのが狙いで、教育機関では同行と産学連携を行っている本学をはじめ、9機関が出展いたしました。

本学ブースは、eラーニングシステム「TIES (Tezukayama Internet Educational Service)」(http://www.tiesnet.jp/)を出展。会場と東生駒キャンパスの「TIES教材開発室」がネット接続され、ライブ配信を体験することができ、また収録された講義やライブ配信の授業の紹介が行われました。

ブースには多数の訪問者があり、システムの使い勝手やコンテンツに高い関心が寄せられました。





帝塚山学園評議員(元帝塚山大学学長) 岩井宏貴
国立民俗学館名誉教授・文学博士

七日正月

正月七日を「七日正月」という。この日を般にナクサと呼び、七種類の野菜を粥に入れて七種七草粥、あるいは雑炊にした七種雑炊を食べる風はほぼ全国的である。七種とは、せり(芹)、ほとけのざ(仏座)、ごぎょう(御形)、はこべら(繁蓼)、すずな(松)、すずしろ(蘿蔔)、なずな(薺)で、「春の七草」という。

いずれも早春の若菜で、年の初めに当たって年神に供え、そのあと各人頂いて生命力を更新させようとする。



が、組板の上で音を立てて刻むところから「菜を叩く」ともいう。そのとき「唐土の鳥が日本の土地に渡らぬさきに七草なすな」などと唱え、組板の上に金箸などをのせて、大きな音を立てるようにする。これは年頭に当たって、農作物に害をおよぼす鳥を追い払う「鳥追い」行事との習合であった。

のである。今日では七種を全部そろえることなく、略してなすなをもって七草を代表させるか、それにすずしろを加えるに留める風も広まっている。

菜は六日の昼に摘んでくる。それを「若菜迎え」という。そして六日の夜に入って刻むのである。

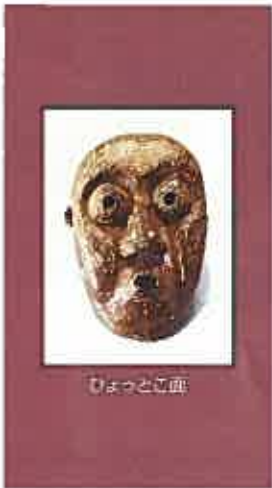
「ひよつとこ面」

帝塚山大学大学院人文科学研究科
博士後期課程二年 裏直記(うらなわき)

ひよつとこはおどけた動作をして人々に笑いを振りまく者として多くの人々に親しまれています。ひよつとこは「火男」が訛ったものであるとされており、その表情も片目を閉じ、籠(かまど)の火を口を尖らせて熾(おこ)そうとする様を表しています。東北地方では火を司る神として捉えられ、ひよつとこ面が籠に祀られています。

それは神とは本来、異形の姿であるという民俗信仰の表れでもあります。

さらにはひよつとこ面、若菜にも多く登場する「庄」



雲安来節」ではひよつとこ顔の男が「ドジョウすくい」を披露するのが有名です。そしてひよつとこはおかめと対であるとされ、二人でおどけた動作を取り、観客を沸かせていますが、それは五穀豊穡、子孫繁栄を祈願する動作であると言われています。

人々の認識としては、その表情やおどけた動作から、道化として捉えられていますが、本来は私達の生活では欠かせない火を司る神だったので、本品は木彫であり、色彩が多少剥落していますが状態は良く、近世の作品であると考えられます。

キャンパスイルミネーションを開催!

東生駒・学園前の両キャンパスにおいて、今年も冬季イルミネーションを実施しています。

東生駒キャンパスでは、正門前のケヤキの木から、校舎にかけての全長およそ120メートルのスロープと、3号館前でイルミネーションを実施。ユリノキの並木道には、26本のブルーとホワイトのイルミネーションが施され、冬の夜の雰囲気を感じ上げています。

学園前キャンパスでは、駅正面の16号館入り口デッキから屋上、はとの広場を中心にイルミネーションを

実施。学生がデザインから飾り付けまでを担当しました。

学園前キャンパスでは、初日の12月4日、17時から点灯式を行いました。

このイルミネーションは2004年からはじまり、一般の方々にも公開しています。ご希望の方は、門衛所です所定の手続きを行い、校内に入構することができます。

実施期間 【東生駒キャンパス】12月1日～1月末(予定)
【学園前キャンパス】12月4日～25日



BOOK REVIEW 新刊紹介

「古神宝」(日本の美術 第511号)
人文科学部教授
関根 俊一(せきね しゅんいち) 著
至文堂 / 1,762円(税別)
2008年12月発行

古人は人知を超えた「自然」の中に神の存在を感じ、神々を祭る神殿を造営してさまざまな御料を捧げた。この御料が「神宝」ということであるが、厳密には「神宝」と「神宝類」の区別もある。この書ではおもに「古神宝類」として国宝や重要文化財に指定された作品を対象に、美術工芸史的な視点で写真も豊富に掲載して概観している。

「都市における地価と土地利用変動」
人文科学部教授
實 清隆(じつ きよたか) 著
古今書院 / 4,500円(税別)
2008年8月発行

わが国は戦後の高度経済成長期に、さまざまな要素の入り混じった深刻な「都市問題」に直面していた。これらの問題を考えるうえで著者は「地代負担力」の視角から、国内と欧米諸都市に調査地を求め「土地利用変動」の原理的なメカニズム解明と理論化に取り組んだ。この1冊にその一定の成果を収めるが、なお研究は今後も続行される。

「TOEIC® Test 英文法完全バイブル」
人文科学部准教授
瀧本 将弘(たきもと まさひろ) 著
三修社 / 2,300円(税別)
2008年9月発行

習者は自らのTOEIC® テストの成績が伸び悩んだ時期に、冷静な分析の結果、正確な文法知識の欠如に気付いた。それからは文法力を高めるため重要文法項目をノートに書きとめては留意し、高得点を得ることができるようになった。そのノートのまとめが本書である。さらに粉々らしい用法、例外項目も加えてTOEIC® 直前対策に効果的に力がつくよう編集した。

企業人のための パラオ自然体験リフレッシュツアー



本学こころのケアセンターでは、本年8月15日から6日間の日程で、森下高治団長（心理福祉学部教授）以下12人のメンバーが参加して、こころの健康づくりのため

の「パラオ自然体験リフレッシュツアー」を実施しました。これは、イルカ介在活動、自然体験活動、ボディーワークなどの先進的で効果的なプログラムを統合してこころのケアセンターが企画した新しいコンセプトの企業人向けメンタルヘルス・プログラムです。企業の人事担当者や関連領域の専門家に現地実際に体験していただき、その意義と効果を確認するために実施したものです。本学がイルカ介在活動に関する協定を結んでいるドルフィンズ・パシフィックの協力の下、パラオ共和国の大自然を舞台に展開されたプログラムでは、参加者全員に笑顔があふれ、皆がリフレッシュできる充実したプログラムとなり、参加者の好評を得て終えることができました。



簿記合宿を開催

経営情報学部では、同学部の教育に不可欠な知識の修得および卒業生の学士力の保証を目的として、平成18年度入学生から日商簿記検定試験3級合格をもって、簿記Ⅰ・Ⅱの単位認定（卒業要件）を行っており、これは全国の大学でも稀有な、大変特色ある教育となっています。

この目的を達成するために、週2回講義、チューデント・アシスタント制（SA：検定試験に合格している先輩の在学生によるサポート体制）の活用などとともに、BIT簿記合宿などを行っています。

BIT簿記合宿は、今回（2008年10月18日から20日の2泊3日）で3回目を迎え、参加学生は約90人、これに教員、本学部OB・OGの税理士資格保有者や大学院生、そして、学生SAの10数人を加え100人超となり、過去最大規模で実施されました。

学生たちは、朝9時から夜の9時まで講義と問題演習、またその後も、11時過ぎまで自習室に集まって勉強するなど熱心に取り組みました。「これまでの人生でこれほど勉強したのは初めて」などという感想も出るなど、学生にとって苦しくも実のある合宿となったようです。



参考URL

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/KEIJO/bit/pc07.html>

第2回目のBIT簿記合宿の様子を見ることができます。

外部講師を招いて フラワー アレンジメント実習

現代生活学部食物栄養学科で、フラワーアレンジメント実習が開講されました。

本実習は、「フードコーディネート演習」授業の一環として毎年開催されているもの。今回は、松井尚子さんを講師に招き、キャンドルを使用したテーブルフラワーの製作に学生が挑戦しました。



土台となるオアシスの中央にキャンドルを配し、バラやガーベラ、姫リンゴやユウカリ、ヒバなどを放射状にアレンジ。約1時間かけて鮮やかなテーブルフラワーが完成しました。製作の間、学生は「花が美しく見えるバランスは？」など、講師に対して活発に質問をしていました。

その後、学生は透明セロハンとリボンで完成品をラッピング。店頭と並んでも遜色のない出来映えに、自分が製作した作品ながら思わず見入ってしまう学生が多く見受けられました。

講義の最後に、「フラワーアレンジメントには、色彩学、構成学などさまざまな要素が関わります。色と形のバランスをよく考えて製作し、テーブルコーディネートに役立ててください。」と講師が述べ、学生は大きく頷いていました。



北浦ゼミの学生4人らの手によるツリーハウスが完成し、12月8日、奈良市鳥見町の鳥見幼稚園で関係者に披露されました。

北浦ゼミの子どものための空間作りは今年で3回目を迎えます。本年の取組は、鳥見地区のまちづくり活動の一環として地域と大学が連携して行ってきたものです。

このツリーハウスは、学生らが1年前から計画し、卒業制作としてナンキンハゼの木の約3mの高さにつくったものです。学生らはアイデアをまとめ、設計計画から、図面を作成し、材料を選び、積算、購入、そしてそれらを実際に組み立てて取り付けるまで、すべての工程を自分達の手で行いました。また、夏休みには工務店の作業場をお借りして、ほぞの切り方などの特訓を受けるなど、施工のための技術も学びました。ツリーハウスに使用した瓦の色付けは鳥見幼稚園の園児が行ったほか、ハウス内部には、関わった学生と園児の足型が記念にデザインされています。

学生にとっては、実際に計画から施工までを体験できるまたとない機会となりました。

居住空間デザイン学科 北浦ゼミの学生による卒業制作
鳥見幼稚園にツリーハウスが完成



研究室訪問

経営情報学部教授・副学長・図書館長 落合 史生 先生

環境問題におけるリモートセンシングの研究と活用！
ゼミでは幅広いコンピュータ知識を学べるように工夫しています。



先生のご専門分野について教えてください。
人工衛星からの画像を解析するリモートセンシングという分野の研究を行っています。解析には地図情報も大切ですので、地理情報システムにも関心を持っています。

また、人間の顔の表情認知の分析、感情語彙の意味ネットワークなどの分析など心理学分野についても研究しています。

その分野に進みたい学生さんをお聞かせください。
もともと環境問題に興味があったため、自分自身でデータを扱って環境問題に関わることができないかと考えていたところ、リモートセンシングを知り、研究を始めました。

環境問題とリモートセンシングはどのような繋がるのでしょうか。
地球温暖化問題において対策を講じるためには、地球全域で植物がどの程度存在し、どの程度二酸化炭素を吸収しているかを知る必要があります。この二酸化炭素量(純一次生産量)を評価する方法としてリモートセンシングが有力な手段であるのです。

現在は、奈良女子大学のグループと共同で、日本が打ち上げたADEOS-II衛星からの画像を用いて全地球の純一次生産量の推定を行っています。この研究結果の検証のためには地上での測定調査も大切であるので、奈良県の森林、田んぼ、あるいはモンゴルの草原での現地調査も行っています。

心理学分野のご研究についてお伺いいたします。
顔の表情分析については、心理の研究者から



解析方法に関する質問を受けたことがきっかけで興味を持ち始め、共同研究を行うに至りました。顔の表情分析とは、異なる表情を画像処理して中間の表情を作成し、被験者に評価してもらい分析するものです。その結果、認知空間がフラクタル構造を持つことと、より複雑な表情を認識するときには、さらに高いフラクタル次元で認知していることがわかりました。感情語彙の分析は、感情に関連する単語を自由連想してもらい、それらの単語間の意味ネットワークを抽出することを研究しています。

最近、注目されていることはありますか？
私の専門分野であるリモートセンシングは、今までは限られた専門家の世界と考えられておりましたが、グーグル・アースの出現により身近な存在になってきました。グーグル・アースの画像の上には3次元のコンピュータ・グラフィックスで作成した建物を合わせて表示することができるので、昨年度の卒業研究で作成した学園前キャンパスの建物をグーグルに登録したりもしています。

また、表情認知の分析で得られた結果を説明するために、脳自体がそのようなフラクタル構造を持っていると言う仮説を提唱したほか、感情語彙の意味ネットワークもフラクタル構造を持つ可能性があるかについて研究中です。

先生のゼミの内容についてお聞かせください。
画像解析、地理情報システムを専門に行っているので、ゼミは関連するコンピュータ・グラフィックスを中心に、Webサーバーシステムの構築、ホームページの作成のほか、ゲームの要素を取り入れた学習支援教材の開発、およびネットワークを利用したビジネスプランの検討などを行っています。それぞれを個別に行うのではなく、すべてが連動するように工夫しています。そのことによって、ゼミの活性化に繋がるとともに、大学の活性化に繋がるプランが創出できれば、と考えています。

また、今まで担当していた多くの科目がコンピュータを利用した実習科目なので、ただ教員が指示した内容を学生にやらせるだけでなく、学生自身で考える機会を増やすように授業を

行ってきました。最初は、どうすればよいか戸惑っていた学生も、うまく実行できたときは大喜びです。
講義科目では統計基礎を担当していますが、ここでも教員が一方的に話すだけでなく、学生が手計算を行うことで統計の概念を理解してほしいと考えています。

学生へのメッセージをお願いします。
大学生の期間はすぐに終わってしまいます。大学生のときに、これをやったと自信を持って言えることを何かつ成し遂げて下さい。それがゼミのテーマであったら、教員にとってはすばらしいことです。難しいと思うことも、一歩踏み出してみると意外と簡単な場合もあります。諦めずに進んで下さい。

注1 意味ネットワーク文や単語の意味、概念間の連想関係をネットワーク形式で図式化して表したものの、個々の概念をノード(節点)とし、その意味関係を線で結び相関図にする。知識をこのような形で表現することで、コンピュータ上での処理が実現しやすくなる。これを応用した例には、機械翻訳システムや人工知能での推論などがある。
注2 フラクタル構造幾何学の概念のひとつ。図形の部分と全体が自己相似になっているものを指し、自然界では海岸線の形や血管の分岐構造などがその例とされる。また、コンピュータ・グラフィックスにおける地形や植生などの自然物形状の自動生成の方法として用いられることもある。

日本の伝統技術を世界に広げる立役者、 留学経験と大学院での学びが大きな鍵。

創業700年以上の和包丁の名店、菊一文珠四郎包永（きくいちもんじゅうしろうかねなが）のニューヨーク支店であるKIKUICHI NY INC.で伝統的な和包丁の販売、普及に忙しくされている柳澤さん。（写真内＝前列左から3人目）

1997年7月に家業である和包丁の販売をアメリカで始めて、今年で12年目。当初は数件のキッチン用品を扱う小売店から始まったアメリカ進出も、現在では高級キッチン用品を扱う全米250店舗のウィリアムソノマで、ヘンケルやウストッフなどの世界有数ブランドと並べて販売されるまでに成長を遂げました。

アメリカでの商売の苦労とやりがいを尋ねると、「10年前は、和包丁のニーズが殆ど無かった時代ですので、商品を1から紹介しなくてはならないという意味では苦労しました。しかし、弊社の歴史や和包丁の製造方法の説明を地道に続けていったところ、徐々に菊一ファンが増えていきました。弊社の扱う和包丁は堺の職人が1本1本、音と変わらない製造方法で包丁を製造し続けています。そのような本物が人種を超えて価値を認められたとき、長年のアメリカでの商売が実を結んだと感じた一瞬でした」と柳澤さんは話してくれました。

大学時代の柳澤さんは、経済学部に進学当初より海外留学を志し、大学の海外留学奨学生制度を利用して、NY州のMANHATTANVILLE COLLEGEで1年間教育を受けました。また、帰国後は帝塚山大学大学院へ進学。長浜稔良教授の指導のもと、英語で経営学を学びました。最初は、英語での授業に不安を覚えたものの、現在、決算書を英語で抵抗無く読めるのは、大学院での英語での学習があったおかげと、柳澤さんは回想します。

NY州のマンハッタンでの生活がもう15年以上になるそうですが、海外で過ごしていると、奈良で生まれ育ち、学習できたというのは日本人として大変恵まれていたのだと感じさせられることも多いとか。



特に、奈良の地の帝塚山大学で過ごした学生時代は、何物にも替えがたい経験として、今も自分の糧になっていると強く思うそうです。

今後は、アメリカにとどまらず、どここの国にでも菊一の和包丁を積極的に展開していきたいと話す柳澤さん。ますますの発展に期待が高まります。

また、帝塚山大学の学生に向けて、柳澤さんからこんな温かいメッセージをいただきました。「アメリカで経験を積みたくて考えている後輩に、自身の経験から色々アドバイスができると思います。興味を持った人は、iyanagisawa@kikuichi.netまでご連絡ください。微力ですが力になれると思います」

Campus Voice
—キャンパスボイス—

卒業生紹介

仲間と頑張った学生時代。その頃の自分が、仕事と練習に活力を与えてくれる。

現在トップリーグの近鉄ラグビー部（近鉄ライナーズ）に所属する寺田幸司さん。（写真内＝右から1人目）

9月6日に長居球技場で開催されたトップリーグ開幕戦の近鉄ライナーズ対横河武蔵野アトラスターズで、新人ながらリザーブに選ばれた寺田さんは、後半21分にウィングとして出場し、洗滌としたプレーを披露しました。

高校からラグビーを続けてきた寺田さんですが、大学に入ってからラグビーをやめてしまおうと思ったこともあったそう。

「燃え尽き症候群です。あんなに好きなラグビーが大嫌いになるほどでした」

そんな時、ともに頑張ってきた仲間がいたからこそ、またラグビーへの情熱を取り戻せたという寺田さん。自分に負けず、何事にも向かっていくこと、何かから目を背けたり、逃げたりしてはいけないのだと、ラグビーと仲間に気づかされたらと、振り返ります。

ラグビー三昧の日々であった寺田さんですが、それでも学業と両立しなくてはと、授業へは頑張っただけで出席を続けたとか。ゼミの担当であった北本先生からはコミュニケーションの大切さを学んだほか、自分自身を見つめ直すきっかけを与えてもらったこと、また、西川先生からは授業以外の点でも、さまざまな面でお世話になったことが、よ



©近鉄ライナーズ

近鉄ライナーズ（近鉄ラグビー部）

近畿日本鉄道 大阪輸送統括部 所属 寺田 幸司さん
人文科学部英語文化学科 2008年卒業

く思い出されるそうです。両先生の教えは、社会人になった今でも胸にあると語ります。

現在は、午前中は近鉄の阿倍野橋駅で駅係員を務め、お客様の安全の確保に気を配る寺田さんですが、午後になるとラグビーの練習に忙しく、一日があっという間に終わってしまうそうです。充実した日々を送る寺田さんですが、辛い時や苦しい時は「思う存分頑張った大学時代の自分が背中を押してくれるのを感じる」と話します。だからこそ後輩たちには「何でも良いので、思い切って何かに取り組み、悔いのない学生生活を送ってほしい」とアドバイスしてくれました。

最近注目しているのは、本学のラグビー部がBリーグに昇格し、1年目にして4勝という快挙を成し遂げたことだそうです。ラグビー部OBとして、今後の活躍には大変期待していると熱く語る寺田さん。Aリーグ昇格を目指して頑張っしてほしいと、ラグビー部後輩たちにエールを送ってくれました。

法政策学部 松永 俊介さん
国税専門官に合格



法政策学部4年生の松永俊介さんがこの度、国税専門官に合格しました。

松永さんは、1年生の時から4年生になるまで本学の公務員セミナーを受講し、入学当初からの目標であった、国家Ⅱ種・地方上級職レベルの公務員になるために努力を続けてきました。4年生になって周りの人たちが

がどんどんと内定を得る中で、公務員試験へのモチベーションを保つのは大変厳しかったようです。

「そこを乗り切れたのは、家族や友人のサポートあってこそです。さらに、大学の先生方には勉強だけでなくメンタル面でも色々相談に乗っていただき、大変心強かったです」

松永さんが入学当初に立てた目標は、公務員試験合格のほか、「特別奨学金の受給」、「大学生にしかできない事をする」といったものがあつたそうです。目標達成のために何をしてきたか尋ねると、「授業に力を注ぎました。法政策学部の授業は、公務員試験の民法や憲法などの科目に役立つので、熱心に受講するのがお勧めです」と、公務員試験を目指す後輩へのアドバイスも。また、オープンキャンパススタッフや、キャリアセンターの就職アドバイザーとしても活躍し、4年間の学生生活も満喫できたと言います。

4月からは、東京国税局への配属となった松永さん。国税査察官となって、「国民の公平・公正を守るために頑張っていきたい」と意欲を見せてくれました。

難関資格「社会保険労務士」に一発合格！ 経済学部 楠本 良子さん



経済学部4年生の楠本良子さんがこの度、第40回(平成20年8月24日実施)社会保険労務士試験に合格しました。

社会保険労務士とは、監察省庁が厚生労働省の国家資格で、人事・労務管理全般から労働社会保険全般に関するアドバイス、書類の作成手続きなどを行う、人事・労務管理のエキスパートのための資格。一般の合格率が7.5%、学生の合格率は1.5%の難関試験です。

中学生の時に観たドラマがきっかけで、初めは「行政書士」を志した楠本さんですが、中小企業診断士の資格を持っておられるお父様から、「幅広い仕事ができるから」と社会保険労務士の受験を勧められたのが、社会保険労務士を目指した理由と明かします。

社会保険労務士の資格取得に向けて、本格的に試験勉強に取り掛かったのは3年生の10月。その頃から学外の資格学校にも通い始めました。所属ゼミの山本国昭准教授に就職活動を中断し試験勉強に専念する旨を伝えたところ、温かい励ましの言葉とアドバイスを頂いたそうです。

試験勉強で難しかったのは、健康保険、国民年金などの学生ではあまりお目にかからない分野の科目とか。イメージがつかみにくく苦労したとのこと。しかし、社会保険労務士では、合計点だけでなく各試験分野(労働基準法、労災保険法など計8科目)でも基準点が設けられているため、苦手科目を作れません。多い時には一日10時間も勉強したと言います。

猛勉強の代償があつて、初めてのチャレンジで合格を勝ち取った今は、将来の個人事務所経営も見据え、実務を磨いていきたいと、夢を語ってくれました。

担当者からのメッセージ

学ぶ楽しさを知ってもらいたい!

学習支援室担当 人文科学部所属 野村和代

こんにちは。学習支援室の野村です。2006年4月のスタート時から、学習支援室と共に歩いています。授業は、「日本語基礎講座【表現編】/【理解編】」、「国語基礎【国語表現法Ⅰ/Ⅱ】」を担当しています。授業に参加することで、大学での学習に必要な不可欠な読む力、書く力、考える力を、学生が楽しみながら身につけ、それを自信につなげてくれればと願っています。支援室や私たちが、学生生活の何かに役立つことは、とても嬉しく、おかげさまで日々充実しています。



英語っておもしろい!

学習支援室担当 心理福祉学部所属 奥村玲香

英語学習を行う際の不安や動機、学習スタイルなど、学生のニーズを取り入れた学習者中心型の授業作りについて研究をしています。「英語の授業は緊張する」「英語は苦手…」そんな英語に対するマイナスイメージをなくしませんか?授業は、個人作業になりがちな英語学習を、ペアやグループでの学習を取り入れながら行っています。「英語っておもしろい!」いっしょに楽しく、使える英語を身につけましょう。授業という限られた時間の中では解決できない英語の質問や留学の相談などのある人、一度学習支援室に来てみて下さい。



部、学年の人たちがやってきます。今では、常連さんも増えました。学生が気軽に訪れることができるように、漢字パスルや英語のことわざクイズ、百マス計算などの問題プリントを月替わりで用意したり、漢字検定や文章能力検定の問題集や学習に関する書籍を閲覧できるようにしたりもしています。もっともっと多くのみなさんに利用してもらえよう、スタッフ一同これからもさらに工夫していきたいと思っています。



学習支援室は2006年4月、リメディアル教育支援室という名称でスタートし、翌年現在の名称に変更、さらに2008年の春には、2号館3階から3号館2階に引っ越しました。バス停前に移ってから、少しは知名度が上がったのではないのでしょうか? 学習支援室とは、文字通り学習を支援するための部屋です。高校とは異なる大学の勉強を、学生が安心して行えるためのサポートをしています。授業の受け方、ノートの取り方、レポートの書き方、試験の受け方など、大学での学習面におけるさまざまな相談に対応しています。もちろん、実際に受けている授業に関する質問に来る学生もたくさんいます。それ以外にも、自主学習のほか、ちょっとした悩み相談、軽いおしゃべりなど、さまざまな目的でさまざまな学習

学習支援室の取組について



留学生手記

ボランティアの感想

2年生の時は福祉体験の授業があり、老人養護院と障害者の施設に行ってきました。オープンカレッジの活動にも参加して、障害者の方々に語学を教えました。台湾語と北京語の違いと北京語の基本的なあいさつや言葉を教え、初めて講師を経験しました。伝えることの難しさ、解りやすい説明をすることの大切さを知りました。けれど、一番大事なのは楽しく笑顔で接するということだと知り、生徒たちにプレッシャーをかけないように注意して授業に取り組みました。そして、オープンカレッジに参加して、自分に足りなかったところに気づき、今回の反省点を今後活かしていくことで、自分が成長することのきっかけになりました。

これから、台湾に帰って日本語教師を目指すにあたり、「説明すること」の重要性を感じました。日本での学生生活はとても貴重な経験になりました。

ボランティア活動で老人施設や障害者施設に行き、さまざまな体験をしたことで、もっともって人の役に立つ人間になり

たいと強く感じました。それから、一日一善を心がけるようになりました。

日本に来て、今までに22回の献血をしました。現在、自分がこんなに日本語を話せるようになったのは日本で知り合った方たちのおかげです。特に大学の友達存在は大きかったと思います。だから、感謝の気持ちを込めて、日本にいる間に50回献血しようと思います。

針の跡を見て、これは日本に来た証だと思えます。

日本に来て、帝塚山大学で学び、みんなと出会って本当に良かったと思えました。

心理福祉学部 地域福祉学科 3年
ゴ メイエイさん (台湾出身)



INFORMATION お知らせ

2009年度 帝塚山大学 これから出願・受験できる一般入試

区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表
A日程 2教科型・3教科型	1/8(木)~1/21(水) 1/22のみ願書持込可	1/29(木)・1/30(金)・ 1/31(土)	2/7(土)
B日程 2教科型(国語・英語)	2/2(月)~2/18(水) 2/19のみ願書持込可	2/22(日)・2/23(月)	2/28(土)
C日程 面接・小論文	2/23(月)~3/5(木) 3/6のみ願書持込可	3/10(火)	3/14(土)
大学入試センター試験 利用入試 前期 2教科・3教科型	1/19(月)~2/13(金)	※個別学力検査は 実施せず	2/21(土)
大学入試センター試験 利用入試 後期 2教科型	2/23(月)~3/5(木)	※個別学力検査は 実施せず	3/14(土)

※入試情報は専用のホームページ <http://www.tezukayama-u.ac.jp/opencampus/>でも案内しています。

※各方式の試験科目・試験地など詳細については「学生募集要項」でご確認ください。

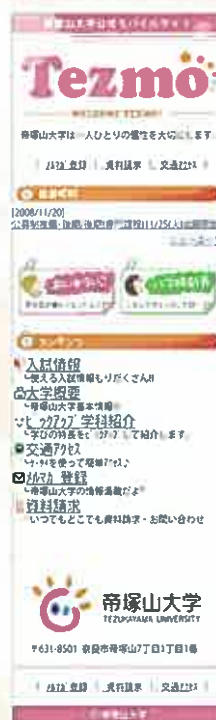
■ 学生募集要項・大学案内の請求は入試課まで (送料とも無料でお届けします)

【帝塚山大学入試課】 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
TEL.0742-48-9149 FAX.0742-48-9021
E-mail:nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

経済学部副学部長 池田尚司教授が急逝 (享年53才)

経済学部副学部長 池田尚司教授が10月16日、膵臓癌のため逝去されました。葬儀・告別式は10月18日、奈良市葛城北の公益社会館葛城でしめやかに執り行われました。池田教授は山口県出身。京都大学経済学部卒業後、大阪大学大学院経済学研究科修士課程、同大学院経済学研究科博士課程を経て、愛知教育大学にて助教授を務められた後に、昭和62年10月帝塚山大学経済学部助教授として着任されました。平成9年4月からは同学部教授、そして同19年6月からは同学部副学部長を務めておられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

帝塚山大学 携帯サイト 「Tezmo(テズモ)」がオープン



11月21日、帝塚山大学の新しい携帯サイトを開設しました。「Tezmo(テズモ)」と名称も新たに、入試案内やオープンキャンパス、奨学金などに関する情報が満載です。資料請求やメルマガ登録も「Tezmo」から簡単に、皆様も是非Tezmoをチェックしてみてください。今後は携帯サイトだけの特別企画が登場するかもしれません。



携帯電話で上のQRコードを読み取るだけで、簡単に「Tezmo」へアクセス。ご覧にならない方は下のアドレスをご入力ください。
<http://tezmo.jp>



大学通信「帝塚山」企画編集委員会
〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1

TEL.0742-48-9341 FAX.0742-48-9030 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp
URL:<http://www.tezukayama-u.ac.jp/>

保護者の方々からの声をお待ちしております

大学通信「帝塚山」はキャンパスライフの紹介とそれを通じての本学と保護者の方々との双方向コミュニケーションの促進を目指しています。本誌の記事、本学の教育・研究内容等について保護者の皆様からの投稿をお待ちしております。投稿要領は次の通りです。

- ①字数は400字程度。
- ②ご住所、お名前、電話番号を明記してください。
- ③宛先は左記を参照してください。